

第46期

中間事業報告書

平成11年4月1日から平成11年9月30日まで



ゼリア新薬

Z E R I A

ゼリア新薬工業株式会社



**Z・E・R・I・A Five**  
コーポレート・スピリッツ / 企業理念

## CONTENTS

株主の皆様へ .....	2	経営指標の推移 .....	8
営業の概況 .....	3	会社の概要 .....	9
中間貸借対照表 .....	5	株式の状況 .....	10
中間損益計算書 .....	7		

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。当社第46期中間期（平成11年4月1日から平成11年9月30日まで）の事業報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当社は、昨年12月22日に東京証券取引所市場第二部に上場後、初めての中間決算を迎えました。

株主の皆様には日頃のご支援に対しまして厚くお礼申し上げます。

医薬品業界におきまして、医療用医薬品市場は患者自己負担増加による受診抑制が回復傾向にあるものの、依然として厳しい状況にあります。一方、ヘルスケア市場は景気回復が足踏みする中、規制緩和が進められ、一層競争が激しくなっております。

当社は、このような低成長時代に対応すべく、企業体質の改善（収益体質の強化、財務体質の強化）および企業の特長付け（差別化）を意図した「質を求める経営」を追求してまいりました。この結果、当中間期の業績は、売上高276億9千2百万円（前年中間期比1.6%増）となりました。

利益面につきましては、経常利益33億8千5百万円（前年中間期比57.2%増）、中間利益16億8百万円（前年中間期比22.1%増）となりました。

当中間期末配当金につきましては、1株当たり7円とさせていただきます。

今後も当社は、医療用医薬品事業においては消化器官用薬分野を優先的に展開し、研究開発においては英国で臨床試験を進めております消化管運動賦活剤「Z-338」を初めとする開発品の早期製品化に邁進してまいります。

ヘルスケア事業につきましては、新た



代表取締役社長

伊弉幸顕

にヘルスケア営業本部を組織し、予防・健康づくりを目的としたセルフプリベンション、治療を目的としたセルフキュアの概念の普及と製品提供を行ってまいります。

このように、当社は医療用医薬品、一般用医薬品の両事業の収益性を向上させるとともに、いわゆる「質を求める経営」を実践してまいります。また、企業体質を維持・強化し、株主価値を重視する立場から、株主資本比率の改善を図りつつ、株主資本利益率（ROE）の向上を図り、東京証券取引所市場第一部指定替えの早期実現に努力してまいります。

なお、「コンピューター西暦2000年問題」への対応につきましては、基幹業務の継続性の維持および顧客対応を最重要事項案件と位置づけ、平成8年4月より担当部門から問題提起を行い、予備調査を実施し、平成11年1月より役員を責任者とした「2000年問題プロジェクト」を発足させました。関係会社を含む全社をあげて対応を進め、平成11年12月初旬をもって完了いたしました。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成11年12月



ゼリア新薬  
ZERIA

# 営業の概況

## 医療用医薬品部門

医療用医薬品部門におきましては、消化器官用薬を最重点領域とした営業展開に努めてまいりました。内容といたしましては、抗潰瘍剤H<sub>2</sub>ブロッカー「アシノンカプセル」が伸長し、亜鉛含有抗潰瘍剤「プロマック顆粒 15%」も順調に市場に浸透してまいりました。

また、消化器官用薬に次ぐ分野としての循環器官用薬におきましては、急性心不全治療薬「ハンブ注射用 1000」が大幅に続伸しました。

しかしながら、市場競争の激化の中、高血圧治療剤「ランデル錠」は微増を確保しましたが、鎮痛消炎剤「ペオン錠 80」、消炎性抗潰瘍剤「マーズレン - S 顆粒」は減少を余儀なくされました。

この結果、当部門の売上高は198億3千1百万円(前年中間期比1.9%増)となりました。



## ヘルスケア部門

ヘルスケア部門におきましては、セルフプリベンションすなわち生活習慣病対策を指向した重点育成品として、ローヤルゼリー群、コンドロイチン群、ヘパリーゼ群、カルシウム群に生活習慣病のコンセプト食品である「新健康習慣」

を加え積極的な営業展開に努めて参りました。また、規制緩和の流れの中で、ドリンク剤の「強力ローヤルゼレントB」、「ヘルサンソフトB」が大幅に伸長しました。

この結果、当部門の売上高は67億1千9百万円(前年中間期比2.1%増)となりました。



## 特販部門

その他といたしましては、上記二部門以外の販売ならびに輸出等により売上高は11億4千1百万円(前年中間期比5.2%減)となりました。

## 研究開発部門

研究開発部門におきましては、経皮吸収型狭心症治療剤「ミントラン」の製造承認、「プロマック顆粒 15%」の胃炎効能追加、及び75mg錠の剤型追加をそれぞれ申請中でございます。臨床開発段階のものとしたしましては、新薬の慢性動脈閉塞症治療剤「Z - 335」が、フェーズを開始いたしました。また、「ペオン錠 80」は急性上気道炎、「アンサー注」は子宮頸癌に対する効能追加のための臨床試験を引続き進めております。

開発中の新薬といたしましては、消化管運動賦

活剤「Z - 338」は、日本の臨床開発に先駆けて本年4月より英国でフェーズⅠを開始し、来年度からのフェーズⅡ開始に向けて準備中でございます。また、痔炎治療剤「Z - 203」は国内でフェーズⅠを開始いたしました。

創製された新薬といたしましては、新しい作用機序を有する消化性潰瘍治療剤「Z - 360」が、臨床試験にむけて研究を進めております。

「Z - 100(アンサー注)」につきましては、米国における基礎研究においてHIV感染症(後天性免疫不全症候群:エイズ)の治療に対する効果が認められたことから、米国における臨床開発を準備中でございます。

一般用医薬品につきましては、医療用医薬品のH<sub>2</sub>ブロッカー「アシノン」をスイッチOTCとして製造承認申請中でございます。また、消化器分野における製品ラインアップを目指した研究を行っております。

## 通期の見通し

平成12年3月期(平成11年度)の通期業績予想につきましては、売上高556億円(前年度比2.3%増)、経常利益61億円(前年度比5.4%増)、当期利益30億円(前年度比10.8%増)となる見込みです。

年間配当金につきましては、1株当たり14円を予定しております。

## 主力製品

### 医療用医薬品等

種 別	製 品 名
消化器官用薬	アシノンカプセル(150、75)
	プロマック顆粒15%
	マーズレン-S顆粒
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10、20、40)
	ハンブ注射用1000
血液及び体液用薬	アンサー20注
医 療 用 具	アビテン・シリンジアピテン

### 一般用医薬品

種 別	製 品 名
滋 養 強 壯 剤	ローヤルゼリー散
	ハイゼリー散
	マリオンカルシウム
	ゼリアカルシウム液
代 謝 性 用 薬	ハイゼリー-B
	強力ローヤルゼレントB
	ゼリアス(V5、V10)
	新ハイゼリーエース
	新ヘパリーゼプラス
	コンドロイチンZS錠
中枢神経系用薬	セビーゴールド(カプセル、顆粒)
栄 養 食 品	新健康習慣



# 中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別		
	当 中 間 期 (平成11年9月30日現在)	前 中 間 期 (平成10年9月30日現在)	前 期 (平成11年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	<b>36,877,717</b>	<b>34,854,570</b>	<b>35,583,039</b>
現金及び預金	3,379,449	3,870,867	3,582,814
受取手形	3,312,813	3,940,107	3,605,916
売掛金	23,453,860	20,793,783	21,719,756
有価証券	493,098	350,220	476,678
製品及び商品	2,743,854	2,475,671	3,014,005
半製品及び仕掛品	1,031,135	1,150,802	815,930
原材料及び貯蔵品	1,201,494	1,164,330	1,322,757
前渡金	488,957	271,638	358,257
前払費用	116,097	102,959	107,700
その他の流動資産	781,498	883,965	732,498
貸倒引当金	124,544	149,776	153,276
固定資産	<b>18,772,664</b>	<b>18,379,034</b>	<b>18,941,107</b>
有形固定資産	<b>14,576,340</b>	<b>15,304,543</b>	<b>14,872,511</b>
建物	5,417,849	5,839,692	5,594,525
構築物	317,109	341,818	324,240
機械装置	1,057,091	1,358,075	1,223,253
車両運搬具	16,004	13,061	10,632
工具器具備品	315,839	288,115	267,414
土地	7,452,445	7,463,779	7,452,445
無形固定資産	<b>620,638</b>	<b>667,454</b>	<b>554,204</b>
販売権	261,145	417,741	339,860
特許実施権	147,187	216,145	181,666
ソフトウェア	180,518	-	-
その他の無形固定資産	31,787	33,566	32,677
投資等	<b>3,575,685</b>	<b>2,407,036</b>	<b>3,514,392</b>
投資有価証券	2,460,973	1,193,685	2,183,165
敷金及び保証金	640,795	593,568	658,431
長期前払費用	900	135,435	153,091
その他の投資	478,133	489,473	524,831
貸倒引当金	5,116	5,127	5,127
<b>資産合計</b>	<b>55,650,381</b>	<b>53,233,604</b>	<b>54,524,147</b>

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 前中間期において「投資等」の「長期前払費用」に含めて表示してありました自社利用のソフトウェアは「無形固定資産」に含めて「ソフトウェア」として表示することに変更いたしました。  
 なお、減価償却方法は、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(単位：千円)

科 目	期 別		
	当中間期 (平成11年9月30日現在)	前中間期 (平成10年9月30日現在)	前 期 (平成11年3月31日現在)
<b>負債の部</b>			
流動負債	<b>24,876,040</b>	<b>23,963,660</b>	<b>24,563,698</b>
支払手形	4,945,045	5,530,422	5,023,414
買掛金	3,852,991	3,691,654	3,975,861
短期借入金	9,040,000	7,180,000	8,640,000
1年以内返済予定の長期借入金	861,600	1,341,600	1,091,600
1年以内償還予定の社債	-	100,000	-
未払金	1,627,615	1,549,719	1,536,808
未払法人税等	1,868,266	1,541,307	1,911,838
未払事業税等	-	433,289	-
未払消費税等	286,207	276,746	289,452
未払費用	105,086	148,966	188,023
賞与引当金	1,515,941	1,525,020	1,185,497
返品調整引当金	339,427	176,802	218,287
売上割戻引当金	352,953	290,204	315,187
その他の流動負債	80,906	177,928	187,727
固定負債	<b>3,736,657</b>	<b>4,566,395</b>	<b>4,108,242</b>
長期借入金	986,100	1,847,700	1,396,900
退職給与引当金	2,551,574	2,443,740	2,494,203
役員退職慰労引当金	198,982	200,315	217,138
その他の固定負債	-	74,640	-
負債合計	<b>28,612,697</b>	<b>28,530,056</b>	<b>28,671,940</b>
<b>資本の部</b>			
資本金	<b>6,593,398</b>	<b>6,593,398</b>	<b>6,593,398</b>
法定準備金	<b>7,045,840</b>	<b>7,045,840</b>	<b>7,045,840</b>
資本準備金	5,397,490	5,397,490	5,397,490
利益準備金	1,648,349	1,648,349	1,648,349
剰余金	<b>13,398,445</b>	<b>11,064,309</b>	<b>12,212,967</b>
任意積立金	10,459,000	9,459,000	9,459,000
別途積立金	10,459,000	9,459,000	9,459,000
中間(当期)未処分利益 (うち中間(当期)利益)	2,939,445 (1,608,858)	1,605,309 (1,318,068)	2,753,967 (2,708,724)
資本合計	<b>27,037,683</b>	<b>24,703,547</b>	<b>25,852,206</b>
負債及び資本合計	<b>55,650,381</b>	<b>53,233,604</b>	<b>54,524,147</b>

3. 前中間期において貸借対照表で区分掲記されていた「未払事業税等」は当中間期においては未払事業税(410百万円)は「未払法人税等」に、未払事業所税(8百万円)は「その他の流動負債」にそれぞれ含めて表示しております。



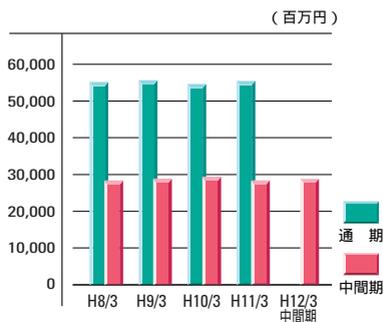
# 中間損益計算書

(単位：千円)

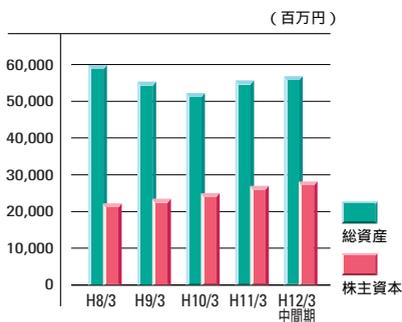
科 目	期 別		
	当 中 間 期 (平成11年4月1日から 平成11年9月30日まで)	前 中 間 期 (平成10年4月1日から 平成10年9月30日まで)	前 期 (平成10年4月1日から 平成11年3月31日まで)
<b>経常損益の部</b>			
営業損益の部			
営業収益	<b>27,692,078</b>	<b>27,250,667</b>	<b>54,359,410</b>
売上高	27,692,078	27,250,667	54,359,410
営業費用	<b>24,533,954</b>	<b>24,672,762</b>	<b>48,374,943</b>
売上原価	12,563,582	12,572,755	25,006,050
返品調整引当金繰入額	121,140	38,562	2,923
販売費及び一般管理費	11,849,232	12,138,569	23,365,970
営業利益	<b>3,158,124</b>	<b>2,577,904</b>	<b>5,984,467</b>
営業外損益の部			
営業外収益	<b>326,902</b>	<b>142,893</b>	<b>310,889</b>
受取利息及び配当金	70,589	82,646	106,136
有価証券売却益	174,409	-	69,102
その他の営業外収益	81,903	60,247	135,650
営業外費用	<b>99,846</b>	<b>567,722</b>	<b>509,446</b>
支払利息	80,957	103,030	202,476
社債利息	-	1,650	3,300
有価証券売却損	258	240,375	240,417
その他の営業外費用	18,630	222,666	63,251
經常利益	<b>3,385,180</b>	<b>2,153,076</b>	<b>5,785,910</b>
<b>特別損益の部</b>			
特別利益	<b>36,762</b>	<b>690,342</b>	<b>743,729</b>
投資有価証券売却益	-	668,960	669,008
固定資産売却益	2,260	141	47,041
貸倒引当金戻入額	27,912	21,241	17,741
その他の特別利益	6,590	-	9,939
特別損失	<b>8,259</b>	<b>2,773</b>	<b>28,002</b>
固定資産売却損	-	-	469
固定資産除却損	8,259	2,773	27,533
税引前中間 当期 利益	<b>3,413,684</b>	<b>2,840,645</b>	<b>6,501,637</b>
法人税及び住民税	-	1,522,576	-
法人税、住民税及び事業税	1,804,825	-	3,792,912
中間 当期 利益	<b>1,608,858</b>	<b>1,318,068</b>	<b>2,708,724</b>
前期繰越利益	1,330,586	287,240	287,240
中間配当額	-	-	241,997
中間 当期 末処分利益	<b>2,939,445</b>	<b>1,605,309</b>	<b>2,753,967</b>

# 経営指標の推移

## 売上高

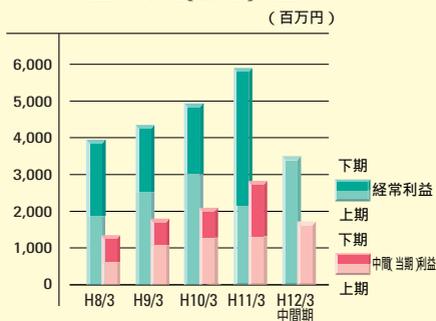


## 総資産 / 株主資本



# Pick Up

## 経常利益 / 中間(当期)利益



当中間期の利益面につきましては、収益体質を強化した結果、経常利益33億8千5百万円、中間利益16億8百万円と、前年中間期に比べ大幅な増益となりました。

	第44期		第45期		第46期
	中間期	通期	中間期	通期	中間期
売上高 (百万円)	28,271	53,513	27,250	54,359	27,692
経常利益 (百万円)	3,012	4,816	2,153	5,785	3,385
中間(当期)利益 (百万円)	1,280	1,979	1,318	2,708	1,608
総資産 (百万円)	54,559	51,087	53,233	54,524	55,650
株主資本 (百万円)	23,154	23,853	24,703	25,852	27,037

### 中間損益計算書注記

- (注)1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 前中間期において「販売費及び一般管理費」に計上してありました事業税(当中間期350百万円)は中間財務諸表等規則の改正により、当中間期においては「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。



ゼリア新薬  
ZERIA

# 会社の概要

(平成11年9月30日現在)

創 立 1955年12月  
資 本 金 6,593,398,500円  
社 員 数 1,451名  
主な事業内容  
1.医薬品、医薬部外品、試薬  
の製造、販売及び輸出入  
2.化粧品、健康食品、清涼飲  
料、衛生雑貨、医療用具の  
製造、販売及び輸出入

代 表 取 締 役 社 長	伊 部 幸 顕
専 務 取 締 役	藤 井 信 信
常 務 取 締 役	林 田 雅 博
常 務 取 締 役	佐々木 耕 治
取 締 役	大 野 晃 晃
取 締 役	福 井 幸 夫
取 締 役	岩 隈 建 男
取 締 役	稲 垣 哲 也
取 締 役	徳 田 直 三 郎
取 締 役	福 山 厚 厚
取 締 役	岩 崎 和 男
取 締 役	株 橋 春 樹
取 締 役	長 江 晴 男
常 勤 監 査 役	藤 部 好 一 郎
常 勤 監 査 役	浜 野 峻 至
監 査 役	新 庄 勝 助

## 事業所

本 社	東京都中央区	名古屋支店	名古屋市	埼玉工場	埼玉県大里郡
札幌支店	札幌市	静岡営業所	静岡市	筑波工場	茨城県牛久市
仙台支店	仙台市	大阪支店	吹田市	東京物流センター	埼玉県新座市
東京支店	新宿区	大阪第二営業所	堺市	札幌物流センター	札幌市
東京支店板橋別館	板橋区	神戸営業所	神戸市	埼玉物流センター	埼玉県大里郡
立川営業所	立川市	京都営業所	京都市	大阪物流センター	摂津市
横浜営業所	横浜市	金沢営業所	金沢市	出張所	
埼玉営業所	浦和市	中四国支店	広島市	青森・郡山・松山・長崎・鹿児島・ 沖縄	
千葉営業所	千葉市	岡山営業所	岡山市	連絡所	
北関東営業所	水戸市	高松営業所	高松市	宇都宮・高崎・富山・津・米子・山口・ 高知・徳島・大分・熊本	
関越営業所	新潟市	福岡支店	福岡市		
甲信営業所	松本市	中央研究所	埼玉県大里郡		

# 株式の状況 (平成11年9月30日現在)

## 株式の状況

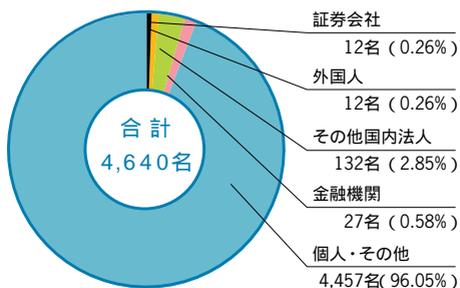
会社が発行する株式の総数 ..... 120,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 48,430,173株  
 株主数 ..... 4,640名

## 大株主

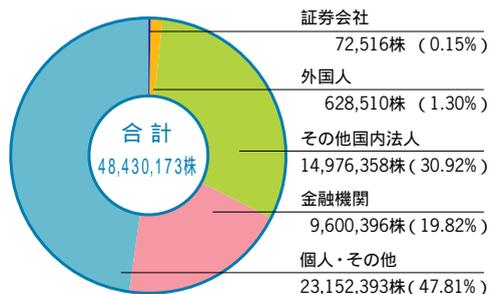
株主名	当社への出資状況		当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社伊部	4,470,770	9.2	—	—
ロザラード株式会社	3,601,079	7.4	—	—
株式会社東海銀行	2,304,045	4.7	1,382,000	0.0
伊部 幸顕	2,273,425	4.6	—	—
ゼリア新薬工業従業員持株会	2,180,417	4.5	—	—
サントリー株式会社	1,980,000	4.0	—	—
森永乳業株式会社	1,687,741	3.4	223,596	0.0
中央信託銀行株式会社	1,207,907	2.4	179,000	0.0
株式会社さくら銀行	1,204,301	2.4	379,000	0.0
日本信託銀行株式会社	879,907	1.8	39,000	0.0

## 株式分布状況

### 株主数構成比



### 株式数構成比



# 株主メモ

決算期	3月31日
利益配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒104-8345 東京都中央区京橋一丁目7番1号 中央信託銀行株式会社
同事務所取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央信託銀行株式会社証券代行部 03-3323-7111(代)
同取次所	中央信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店、出張所
証券コード	4559

## お知らせ

名義書換代理人中央信託銀行株式会社は、平成12年4月1日をもって、三井信託銀行株式会社と合併し、商号を「中央三井信託銀行株式会社」と変更いたします。

## ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080

<http://www.zeria.co.jp>